

H30 年度 特定非営利活動法人晃智会 事業報告書

令和元年 5 月 17 日

1. 事業の経緯
2. 職員の状況
3. 利用者の状況
4. 経営状況

1. 事業の経緯

実質 2 年目となる H30 年度の運営は地域での知名度がついてきたためか年間を通して計画相談員からの紹介や養護学校卒業後の新規受け入れがあり、利用者数増加に合わせて職員も確保でき、中心事業である ROHAS の収支において年間を通して当期純利益がプラスへ転じるなど施設運営の基盤が出来てきた 1 年であったと思います。

H30 年度事業計画で挙げていた「放課後デイサービス」については開設要件である児童発達管理責任者の資格を取得しましたが、利用者数と職員数、財政面とのバランスを考慮して開設を見送りました。今年度に日中一時支援で利用者を募り 3 名/日の利用者確保に至ったのちにスタートする方針としました。

人事については施設長兼サービス管理責任者であった金子の退職に伴い、9 月より太田に変更となりました。また看護師の新規採用があり、生活支援員の出入りはありますが不足なく推移しており、今年度から人員配置体制 2 : 1⇒1.7 : 1 へと人員体制を充実させることが出来ました。人員面の今後の課題としては福祉車両運転可能な人材と先の施設運営を見越して若い人材の確保になると考えております。

設備投資としては施設内部で大きな変化はありませんが、24 時間 TV から福祉車両寄贈対象に選ばれ軽自動車 1 台が追加となりました。

利用者推移についてはまだまだ利用者数が少ないものの昨年度末一日平均 3.4 人⇒年間平均 8.5 人(最大 9.4 人)と増え、月間目標人数 200 人を達成できました。

利用者の傾向としては卒後通所サービス利用、入浴・リハビリ希望、地域生活に移行した精神障害者の受け入れがあり、時期的には新学期になる 4 月 5 月、下半期スタートの 10 月に増える傾向があるため、この傾向と放課後デイサービス開始のタイミングを検討しながら人員を調整していければと思っております。

また吸引だけでなく導尿や褥瘡ケアなど医療処置が必要なケースや内部疾患を有するケースなどの受入もあり施設職員全体としての医療的知識の向上が求められている状況となっておりましてきております。

2. 職員の状況

H31年3月31日現在						
	管理者*	サビ管*	生活支援員	看護師	P T ・ O T	医師
職員数	1	1	7(5)	2(1)	4**	1**
	*兼務		()うち非常勤		**嘱託職員	

H31年4月より看護師1名(常勤),生活支援員1名(非常勤)採用予定

3. 利用者の状況

月別・障害区分別利用者の推移(延べ数)

	開所日数	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	一日平均	重度比率*	日中一時	単位:人
4月	21		45	4	14	54	117	5.6	58.1	0	
5月	23		55	4	14	89	162	7.0	63.6	0	
6月	21		51	3	14	98	166	7.9	67.5	0	
7月	22	1	46	13	13	113	186	8.5	67.7	5	
8月	23	4	43	13	13	113	186	8.1	67.7	5	
9月	20	4	28	19	18	91	160	8.0	68.1	0	
10月	23	3	35	38	24	116	216	9.4	64.8	4	
11月	22	5	33	37	25	104	204	9.3	63.2	0	
12月	20	4	31	33	23	97	188	9.4	63.8	5	
1月	20	3	34	38	24	88	187	9.4	59.9	2	
2月	20	4	36	31	24	90	185	9.3	61.6	0	
3月	21	5	38	24	25	99	191	9.1	64.9	2	
計	256	33	475	257	231	1152	2148	8.5	64.3	23	
									*区分5区分6の割合		

4. 経営状況

別紙: 損益計算書、貸借対照表参照